耳	アルプス市	平成	26	年度 (マネジメント		* 本:1	<i>V</i> ⊨ F	戊日 H	年		月	日作	= =17
		(兼)予算編成資料・実施					計画貝科 <mark>所属部局</mark>			合政 策部		単位番号			F <i>P</i> X 2115
	事務事業名 ≪H26新規		≪H26新規≫全	◆ 全国消費実態調査事業			所属課室		策推進課		課長名			正彦	
		□ 実施計画事業					旦当	行政道	運営・統計技	当	担当者	名	中澤	仁一	
	基本政策 基 I 情報と連携の都市へ			īづくり		予算科	4目	会計 01	名称 一般	款 02	項 05	目 02	細目 020	細々目 09	
	政策)	- 事業[2	又分	□ 県の	の制度によ の制度によ	る義務	的事業	□補		事業		
	施策	糸	1	安心できる市民		7 514273		□ 市の制度による義務的事業 ☑ その他の事業 □ 義務化されている協議会等の負担金				業			
	事業期間	□ 期间限正復致年度 (~ 年度)			統計						
事	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 家計の実態を調査し、全国及び地域別の世帯の所得分布、消費の水準及び構造等に関する基礎資料を得るための調査 ※5年毎の周期調査							の主な (細質 当	的)		501 消 5 通 34	算見込 項目(耗品 信運搬	細節)	金額	真(千円) 42 36
要							賃金 報償費 旅費	••••••			101 146	Ē	H		2,165
1 (1)	現状把握(De 事務事業の目的		E .					a .= -							
	活動 6年度活動内容	9月~	11月に	対象世帯の調査				5) 店里	切指標	(<mark>事務事業</mark>) 名称 問査員数	の活動	量を表す	「指標)	数字は記 単位 ・	
2	7年度活動予定	なし					⇒ ア 指導員・調査員数 イ							<u> </u>	
2	対象(この事務事	業は	推、何を	対象にしているの	のか) * 人や自然	^然 資源等	<u>(</u>	ク ⑥ 対象	東指標	<mark>(対象の大</mark> 名称	きさを表	長す指標)数字(<mark>は記入しな</mark> 単位	
対象	象世帯						⇒	フ対象世基数					世科		
3	意図(この事務事	業により	力対象を	どのような状態にし	ていくのか、どの。	ように変えるのか)	Ţ.	フ <mark>7) 成身</mark>	!指標	(対象におけ 名称	る意図の	の達成度を	を 表す指	(標)数字は 選え	
家計の構造を「所得」,「消費」,「資産」の3つの側面から総合的に把握すること							→	ア 調3 イ		出数/調査	票数			単位 %	<u></u>
(4)	④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)							ウ 8) 上位	立成果	指標(結果	の達成	度を表す	ナ指標)	数字は記	入しない
	得られた情報を基礎資料として、政策立案等に活用する							名称 単 ア・作民参画への取り組みについて満足している市民の割合 9/6						4	
		料力し	て 政策	5 立室等に活用する				ア 住民	参画へのI	なり組みについて	満足して	いる市民の	割合		
14,5	040に開報を基礎負	「料とし	て、政策	6立案等に活用する)] ⇒	ア ^{住民} イ	参画への耳	対組みについて	満足して	いる市民の	割合	%	
	事業費・指標の打		て、政策 単 位	24年度	25年度	26年度 (決算見込・実績)	274	ア 住民 イ 年 度	参画への耳	28年度 (計画・日標	満足して	いる市民の 29年 (計画・F		% 最終	年度
(2)	事業費・指標の持	進移 出金	単位千円			26年度 (決算見込·実績)	274	ア (住民) イ (年度 (・目標)	参画への目	28年度 (計画・目標)	満足して	いる市民の 29年 (計画・E		%	年度
(2)	事業費・指標の対	推移 出金 □金	単位千円千円	24年度	25年度		274		参画への風		満足して	-		% 最終	年度
(2) 年間ト	事業費・指標の計 財 国庫支 事源 県支比 事次 ポープ	生移 出金 遺金	単位 千円 千円 千円	24年度	25年度	(決算見込·実績)	274		参画への理		満足して	-		% 最終	年度
(2) 年間ト	事業費・指標の対象を表現しています。	生移 出金 1金 責	単位 千円 千円 千円	24年度	25年度	(決算見込·実績)	274		参画への目		満足して	-		% 最終	年度
(2) 年間ト	事業費・指標の対 財 国庫支 県支出 内 での での での 一般	能移 出金 責 也 源	単位 千円 千円 千円 千円	24年度 (決算·実績)	25年度 (決算·実績)	(決算見込·実績) 2,161	274					-	目標)	% 最終	年度コスト・目標
(2) 年間トー	事業費・指標の対 期 国庫支 県支出 内 での	性移 出金 造 し 源 (A)	単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円	24年度	25年度	(決算見込·実績)	274		参画への目 の目 の の の の		満足しての	-		% 最終	年度
(2) 年間トー	事業費・指標の対 事業費 財源	住移 出金 責 也 源 (A) 事人 類	単位 千千千 千千 千千 千千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	24年度 (決算·実績)	25年度 (決算·実績)	(決算見込·実績) 2,161	274					-	目標)	% 最終	年度コスト・目標
(2) 年間トー	事業費・指標の対 事業費 財源	住移 出金 責 也 源 (A) 事人 類	単位 千円円 千円円 千円円 千八 時間 千円	24年度 (決算·実績) 0	25年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 2,161 4 2,165 1 500 2,276	274		0		0	-	<u>0</u>	最終 (トータル=	年度 コスト・目標 0
(2) 年間トー	事業費・指標の対 事業費 財源	住移 出金 した に (A) は (A) 数 (B)	単位 千千 千八 時 千千 八 時 千千 千 八 日 千 千 八 日 千 千 八 日 千 千 八 日 千 千 八 日 千 千 八 日 十 千 八	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 2,161 4 2,165 1 500 2,276 4,441	274 (予算		0		0	-	<u>日標)</u>	最終 (トータル=	年度 コスト・目標 0
(2) 年間トー	事業費・指標の計 事業費・指標の計 事業費	能移出金 ・ 遺也・ 源 ・ (A)・ 動間 (B)・ ア	単位 千円円 千円円 千円円 千八 時間 千円	24年度 (決算·実績) 0	25年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 2,161 4 2,165 1 500 2,276	274 (予算		0		0	-	<u>0</u>	最終 (トータル=	年度 コスト・目標 0
(2) 年間トー	事業費・指標の対 事業費 財源	住移 出金 した に (A) は (A) 数 (B)	単位 千円円 千円円 千千人 時千千人	24年度 (決算·実績) 0	25年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 2,161 4 2,165 1 500 2,276 4,441	274 (予算		0		0	-	<u>0</u>	最終 (トータル=	年度 コスト・目標 0
(2) 年間トー	事業費・指標の計 事業費 財源 国庫支 県地方 で 一般 事業費員で報 人件費 人(A)+(B)	能移 金 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	単位 千千 千八 時 千千 八 時 千千 千 八 日 千 千 八 日 千 千 八 日 千 千 八 日 千 千 八 日 千 千 八 日 十 千 八	24年度 (決算·実績) 0	25年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 2,161 4 2,165 1 500 2,276 4,441	274 (予算		0		0	-	<u>0</u>	最終 (トータル=	年度 コスト・目標 0
(2) 年間トー	事業費・指標の計 事業費・指標の計 事業費	能移 金 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	単位 千円円 千円円 千千人 時千千人	24年度 (決算·実績) 0	25年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 2,161 4 2,165 1 500 2,276 4,441 7.0	274 (予算		0		0	-	<u>0</u>	最終 (トータル=	年度 コスト・目標 0
(2) 年間トー	事業費・指標の計 事業費 財源 国庫支 県地方 で 一般 事業費員で報 人件費 人(A)+(B)	能移 出金 責也 ぶ (A) 表情間 (B)	単位 千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	24年度 (決算·実績) 0	25年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績)	274 (予算		0		0	-	<u>0</u>	最終 (トータル=	年度 コスト・目標 0
(2) 年間トー	事業費・指標の計 事業費 財源 国庫支 県地方 で 一般 事業費員で報 人件費 人(A)+(B)	能移 金 も 1 金 し 源 (A) 基 間 (B) アイウアイウア	単位 千円円 千円円 千千人 時千千人	24年度 (決算·実績) 0	25年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 2,161 4 2,165 1 500 2,276 4,441 7.0	274 (予算		0		0	-	<u>0</u>	最終 (トータル=	年度 コスト・目標 0
(2) 年間トー	事業費・指標の対 事業費 財源 国庫支! 地方/ 一般財 事業職 英貴計 従来 大件費 人件費 人件書計 (A)+(B) 活動指標 対象指標	能 8 金 ・	単位 千円円 千円円 千円 千円 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二	24年度 (決算·実績) 0	25年度 (決算·実績) 0	(決算見込·実績) 2,161 4 2,165 1 500 2,276 4,441 7.0 60.0	274 (予算		0		0	-	<u>0</u>	最終 (トータル=	年度 コスト・目標 0
(2) 年間トータルコスト	事業費・指標の対 事業費 財源内内記	能 3 金	単位 千円円 千円円 千円 千円 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二 十二	24年度 (決算·実績) 0 0	25年度 (決算·実績) 0 0	(決算見込·実績) 2,161 4 2,165 1 500 2,276 4,441 7.0 60.0 98.6	274 (予算		0		0	-	<u>0</u>	最終 (トータル=	年度 コスト・目標 0
(2) 年間トータルコスト (3)	事業費・指標の計 期源内訳 事業費 財源内訳 事業費 人名 (A) + (B) 活動指標	能 3 金	単位 千円円 千円円 千八 時間 千千八 世帯 %	24年度 (決算·実績) 0 0	25年度 (決算·実績) 0 0 0 0 0 0	(決算見込·実績) 2,161 4 2,165 1 500 2,276 4,441 7.0 60.0 98.6	274 (予算	·····································	0 0	(計画・目標)	0 0 0	(計画·E	0 0 0	最終 (トータルコ	年度 12X-1目標 0 0
(2) 年間トータルコスト (3) ①	事業費・指標の計 事業費 財源内訳 事規順で支行のの 事規職の表 事規職の表 事規職の表 事規職の表 事規職の表 事規職の表 (A)+(B) 活動指標 対象指標 「人性費」の事務事業はいる。	(A)(B)(B)(C)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)	単位 千円円 千円円 千千人 時刊 千千人 世帯 % (状況()	24年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 が象者・社会状況 はで開始されたの	25年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(決算見込・実績)	274 (予算 (予算	Fの第章	1回以表	(計画・目標) 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(計画・E	1 (((((((((((((((((((% 最終 (トータルコーニー) (トーターニー) (トータルコーニー) (トータルコーニー) (トーターニー) (トータ	年度 コスト・目標 0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3) ①	事業費・指標の計 事業費 財源内訳 事規順で支行のの 事規職の表 事規職の表 事規職の表 事規職の表 事規職の表 事規職の表 (A)+(B) 活動指標 対象指標 「人性費」の事務事業はいる。	(A)(B)(B)(C)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)(D)	単位 千円円 千円円 千千人 時刊 千千人 世帯 % (状況()	24年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 が象者・社会状況 はで開始されたの	25年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(決算見込・実績)	274 (予算 (予算	Fの第章	1回以表	(計画・目標) 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(計画・E	1 (((((((((((((((((((% 最終 (トータルコーニー) (トーターニー) (トータルコーニー) (トータルコーニー) (トーターニー) (トータ	年度 コスト・目標 0 0 0
(2) 年間トータルコスト (3) ① ②	事業費・指標の計算を表現の計算を表現して、	(A) は(B) アイウアイウアイ 参ど	単位 千千円円円 千千人 勝千千人 世帯 % (状況に	24年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 が象者・社会状況 は5年前と 今後の予測は?	25年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(決算見込・実績)	、昭和34年 特属性別があり、世帯にある。	・目標) 年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一	0 0 0 0 0 1回以が 学知ない ※ 本点	(計画・目標) ド、5年ごとに に報を得るが では傾向	0 0 0 0 0 0 0 に り で り で り で り の り で り の り で り の り で り の り の	(計画・E に に に に に に に に に に に に に	0 0 0 0 0 でいる。	場終 (トータルコーン) 消費構造	年度
(2) 年間トータルコスト (3) (1) (2)	事業費・指標の計算を表示の行列を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	(A) 関連(B) ボース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単位 千千千一人 一十千十一人 一十十十十一十十十一十十十十十十十十十十十十十十十十	24年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 すまたは5年前と 今後の予測は?	25年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(決算見込・実績)	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(計画・目標) 医、5年ごとは 情報をするは傾向 では傾向 せられた。	0 0 0 0 0 0 に と め に り で り く り ま た 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、	(計画・E 上変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 とのでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもの	0 0 0 0 0 でいる。 でいる。 一出の状	% 最終 (トータルコー) (トータル	年度
(2) 年間トータルコスト (3) ① ②	事業費・指標の計算を表示の行列を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	(A) 関連(B) ボース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	単位 千千千一人 一十千十一人 一十十十十一十十十一十十十十十十十十十十十十十十十十	24年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 が象者・社会状況 は5年前と 今後の予測は?	25年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(決算見込・実績)	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二年の第二	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(計画・目標) 医、5年ごとは 情報をするは傾向 では傾向 せられた。	0 0 0 0 0 0 に と め に り で り く り ま た 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、	(計画・E 上変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 と変変表のである。 とのでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもの	0 0 0 0 0 でいる。 でいる。 一出の状	% 最終 (トータルコー) (トータル	年度
(2) 年間トータルコスト (3) (1) (2) (3) (4)	事業費・指標の対象を表している。 事業費・指標の対象を表して、一般計では、	能 出金漬地源(A)人間(B) アイウアイウアイ 巻ば 況かる係・ みりの 大るので おり かん こう おり かん こう おり かん こう おり かん こう いん	単千千千八時千千八十十千八十十十十八十十十十八十十十十八十十十十十十十十十十十十	24年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 すまたは5年前と 今後の予測は?	25年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(決算見込・実績)	、昭和34年 ・ 下高まって、 ・ が、世帯」 ・ 雑であると	年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(計画・目標) そ、5年ごとは 青報を得るが 関査では世 避するが良値 せられた。 らも、説明・	0 0 0 0 0 0 0 0 に り の 収 り い り る ま た 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	(計画・E では、 でにさんが、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	% 最終 (トータルコー) (トータル	年度
(2) 年間トータルコスト (3) (1) (2) (3) (4)	事業費・指標の計算を表現して、	能 出金漬地源(A)人間(B) アイウアイウアイ 巻ば 況かる係・ みりの 大るので おり かん こう おり かん こう おり かん こう おり かん こう いん	単千千千八時千千八十十千八十十十十八十十十十八十十十十八十十十十十十十十十十十十	24年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 すまたは5年前と 今後の予測は?	25年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(決算見込・実績)	273 (予算 ・ 昭和344 ・ 青属性別だ。 高まって、 あ、世帯」 ・ 後継であると ・ 多数あっっ	年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(計画・目標 下、5年ごとは 青報を得るが 選する傾向 せられた。 らも、説明。 みしている	0 0 0 0 0 0 0 0 に り の 収 り い り る ま た 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	(計画・E では、 でにさんが、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	% 最終 (トータルコー) (トータル	年度
(2) 年間トータルコスト (3) ① ② ③ (4) ①	事業費・指標の対象を表している。 事業費・指標の対象を表して、一般計では、	能 出金 責也源(A) 間(B) アイウアイ ウアイ 参 ど い 関 類 組 み 善 の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の	単年千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	24年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	25年度 (決算・実績) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(決算見込・実績)	273 (予算 ・ 昭和344 ・ 青属性別だ。 高まって、 あ、世帯」 ・ 後継であると ・ 多数あっっ	年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一年の第一	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	(計画・目標 下、5年ごとは 青報を得るが 選する傾向 せられた。 らも、説明。 みしている	0 0 0 0 0 0 0 0 に り の 収 り い り る ま た 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	(計画・E では、 でにさんが、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	% 最終 (トータルコー) (トータル	年度

的妥当性評	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系 の施策に結びつき、貢献しているか?	☑ 結びつい	ている ⇒【理由	∃ ↓ 】	里由 ↓ 】 ⇒ 3評価(Che	ck2)・4今後の方向性に反映			
	意図が上位目的に結びついているか? ② 公共関与の妥当性	□ 見直し余せ	也がある ⇒【理由	∃↓] ⇒ 3	B評価(Check2) •4今後	-			
	この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか?	が、採算面の問	へて統計調査全般に 引題やその後の経過	民間委託を検討		いて民間委託を実施した事例は数例ある いら、現時点において市が統計法に基づき調			
	は可能か?	査を行うことが。 事務事業の全		部に移行すること	∸が可能である。□ 民間・1	NPO 市民協働			
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続 していくことは妥当か?目的や事業の必 要性を見直す余地はあるか?	□ 見直し余は □ 適切である 現時点では、糸	5 ⇒【理由	∃ ↓ 】	評価(Check2)・4今後 ことが妥当である。	の方向性に反映			
有効性評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向 上させることはできるか?できない場合 は何が原因でできないのか?	□ ある程度	句上余地がある =	⇒【理由↓】 ⇒【理由↓】 ⇒【理由↓】 tね固定化されて	⇒ 3評価(Check2)•	4今後の方向性に反映 4今後の方向性に反映			
		▼ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓)							
	類似した目的を持つ事務事業が他にあるか?類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか?		連携ができる 連携ができない 事業がない	⇒【理由と∮ ⇒【理由↓】		西(Check2)・4今後の方向性に反映			
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影	✓ 影響なし✓ 影響あり	⇒【理由と影響の			できる きない ⇒【理由↓】 統計調査であるため、休止・廃止は不可能			
	響はあるか?また成果から考えて、休止・廃止することはできるか?	能である。	271.4.Wah 1 M.4.T. 4.2.2.0	> (1 /) 2	である。	3004FF#3511 133 8312 3 (F) = 3012 133 F 7 142			
	⑦ 事業費の削減余地	□ 削減余地		∃・具体案↓】	⇒ 3評価(Check	2)・4今後の方向性に反映			
効率性評価	成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☑ 削減余地 統計調査は県			金の内訳や報酬単価がする	べて指定されているため。			
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できない	□ 削減余地☑ 削減余地		ョ・具体案↓】 ョ↓】	⇒ 3評価(Check	2)・4今後の方向性に反映			
Щ	か?(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか?)	統計調査に関	する事務の流れは櫻	を おしている。	いるため、削減余地は無い	٥.			
平性評	事務事業の内容が一部の受益者に偏っ	□ 見直し余は 公平・公正 受益者負担と同	である ⇒【理由		⇒ 3評価(Check:	2)・4今後の方向性に反映			
3	評価(Check2)担当課管理者に	L こよる評価結	果と総括						
(1)	1次評価者としての評価結果		(2)1次評価の総	括 <mark>(事務事業を</mark>	実施した結果を振り返り気つ	<mark>がいたこと、課題、今後の方向性等について)</mark>			
	①目的妥当性 ☑ 適切 □ 見直U② 有効性 ☑ 適切 □ 見直U								
	③ 効率性 ☑ 適切 □ 見直 U								
	④ 公平性 ☑ 適切 □ 見直U	余地あり							
	今後の方向性(事務事業担当課								
	<mark>) 今後の事務事業の方向性(Check1</mark> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)				生改善(公平性⑨の結果)	(3) 改革・改善による方向性			
	休止(目的妥当性①、②、③の結果)		- L (有効性④の結果		生	へ コスト水準			
	必要性検討(目的妥当性①、②、③の結	果)□ コスト削	川減(効率性⑦、 $⑧$ σ	結果)□ 終了		削減 維持 増加			
(2)改革改善案について								
						果 維 □ ☑			
						準低下口			
(<u>a</u>) 改革改善を実現する上で解決すべき	き課題とその角	双决 策			※ 廃止・休止の場合は記入不要 (5)事務事業優先度評価結果 平成26年度			
<u>, т.</u>	TENDERON OF CHART S	- MARCE CV/A				成果優先度評価結果			
						コスト削減優先度評価結果			